

先週の回答



やわらかな陽射しが診療室の紗のカーテンを通して床にこぼれている昼下がり。

とあるクリニック。専門は内科・小児科・バ科。

「あたくしこんなじゃなかったんです」「どんなだったの?」

「均整のとれた、浣漑とした容姿端麗の女子だったんです」

「それがどうしてそんなになっちゃったの?」

「みんな社会が悪いんです」

「電信柱が高いのも、郵便ポストが赤いのも?」

「そうは言ってますせん。こんな女にしたのは」

「誰がしたの?」

「ですから、今の世の中がしたんです」「で、ぼくにどーしろと言うの?」

「せんせーはお医者さんでしよう? だつたら治してください」

「って、何を?」

「槁木死灰になってしまったあたくしを」

「こうぼくしかい? 何ですか、それ」

「医学者のくせに知らないんですか。槁木は枯木、死灰は火の消えた冷えた灰のように冷たいという意味から、ひっくり返して言うと、心も身体も活気がなく、生気が失われたキツネのようになってしまった女のことです」

「びったり」

「なら、こんなキツネのような女になっ



てしまったあたくしを、元の白雪姫に戻してください」

「白雪姫だったかどうかは知らないが、キツネになったのは自分にも責任があるんじゃないの?」

「あたくしに責任はありません。今の男たちがあたくしの魅力に気がつかないのは、今の世の中が悪いからです。今の世の中の責任です」

「ウイリアム・ブレイクという人が言っているでしょう『キツネはわが身をとがめずして罫を責める』って」

「何ですか、それ」

「何でも他人のせいにするのをキツネにたとえたんだよ」

「それはいけません。キツネにしろタヌキにしろ他人のせいにするのは」

「きみ、よその病院に行ってください」

今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。